

## 財政局事業計画表

委員長名 船木 彰 印

<p><b>【テーマ】</b> 正確で適正な財務管理を</p> <p><b>【主旨】</b> 本年は周年事業の実施に伴い、予算規模拡大が想定されることから、より厳格な財務管理を行うことが求められます。 また、公益法人格認定基準の一つにある公益目的事業比率を、今後も継続して達成していく為にも、財務状況の改善が課題の一つとなります。 LOM 事業の円滑な運営の為に、より正確で適正な会計処理を実施すると共に、財務状況の改善を目指します。</p>	<p><b>【具体的内容】</b></p> <p>(1)財務状況の管理と LOM 予算(案)の策定、決算(案)の策定及び月次決算を行います。                  (2)各委員会が行う事業の予算(案)及び決算(案)のチェックを行います。                  (3)各種助成金・補助金などの情報収集を行い、対象委員会に告知します。                  (4)今後の LOM の財務運営及び管理方法について検討します。                  (5)先輩諸兄に感謝を伝える場を設けます。</p> <p><b>【進め方】</b></p> <p>(1)月次で監査を受け、財務状況の定期的な登載及び管理を行います。                  (2)理事会開催前に対象委員会へ提出を求め事前チェックします。                  (3)対象委員会への告知及び情報交換を行います。                  (4)財務状況の分析をし、有識者及び関係者と共に協議します。                  (5)事務局と合同で企画・設営を行います。</p> <p><b>【成果発表の方法と時期】</b></p> <p>(1)理事会及び総会にて報告します。                  (2)理事会にて随時報告します。                  (3)理事会及び委員会にて随時報告します。                  (4)理事会での随時報告、並びに報告書を提出します。                  (5)担当例会にて行います。</p>														
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
主要事業スケジュール				定時総会 京都会議					ASPAC (香港)	ブロン大会 (能代) サマコン (横浜)		定時総会 青年フォーラム (五所川原)	全国大会 (北九州)	世界会議 (台北)	
例会担当								例会準備	→	→	担当例会				
委員会年間スケジュール	予算(案) 作成	助成金等情報 収集	→ 委員会等 事業予算 及び決算 チェック (随時)	対象委員会へ告知 (随時)	→ 月次決算 及び監査 (毎月)	→ 有識者 及び関係者 と協議			→ 報告書 作成			→ 9月定時 総会			→ 年次決算 書(案) 作成 会計監査
			→ 財務状況分析 及び情報 収集	→ 1月定時 総会					→ 補正予算 (案)作成						

## 総務委員会事業計画表

委員長名 池田 賢 印

<p><b>【テーマ】</b>                  一歩ずつ正確に実務を スムーズな移行のために</p> <p><b>【主旨】</b>                  本年度秋田JICは、公益社団法人格の取得という重要な年を迎えます。                  公益性の高い事業を行う団体として、新制度に則った正確な実務は必要不可欠です。これまでの組織進化への準備を引き継ぎ、制度移行にかかわる状況に対処しながら、円滑な総務運営を遂行します。                  また一方で、メンバー其々の資質向上を図ることで、地域住民により一層求められる団体を目指します。</p>	<p><b>【具体的内容】</b>                  (1)総会の設営・運営を行います。                  (2)総会・理事会の議事録を作成します。                  (3)基本資料・会員名簿の作成をします。                  (4)各種資料のコンプライアンスチェックを行います。                  (5)LOMメンバーのコミュニケーション能力を向上できる場を設けます。                  (6)公益社団法人格移行に向けた庶務を行います。                  (7)褒賞申請の対応を行います。</p> <p><b>【進め方】</b>                  (1)(3)(7)委員会で協力して行います。                  (2)担当者を決めて分担して行います。                  (4)法令に基づきコンプライアンスチェックを行います。                  (5)委員会内で企画、実施します。                  (6)庶務に関する有識者と共に、委員会で協力して行います。</p> <p><b>【成果発表の方法と時期】</b>                  (1)1月・9月の定時総会にて行います。                  (2)理事会にて報告します。                  (3)基本資料・会員名簿を作成します。                  (4)各種資料に対応し、審査します。                  (5)担当例会にて行います。                  (6)(7)随時対応します。</p>														
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
主要事業スケジュール				定時総会 京都会議					ASPAC (香港)	ブック大会 (能代) サマコン (横浜)		定時総会 青年フォーラム (五所川原)	全国大会 (北九州)	世界会議 (台北)	
例会担当		定時総会 準備	→	定時総会 例会準備	→	→	担当例会		定時総会 準備		→	定時総会			
委員会年間スケジュール	予定者会 議事録作成		→	定時総会 議事録作成  理事会 議事録作成								定時総会 議事録作成			
		公益社団 法人格移 行に向け た対応					褒賞申請 の対応				→	会員名簿 基本資料 の作成			→

## 会員拡大委員会事業計画表

委員長名 桐生 謙吾 印

<p><b>【テーマ】</b> 過去を知り、今を見つめ、全員で拡大しよう未来のために</p> <p><b>【主旨】</b> 創立 60 周年を迎える秋田 J C は、明るい豊かなあきたを目指して、様々な事業を行ってきました。 これからも歴史ある J C 運動を途絶えることなく行っていくために、地域に根ざした J C の強みを活かしながら、関係諸団体に積極的に協力を働きかけ、 L O M メンバーとともにこれからのあきたを担う人材の発掘を目指します。 また、シニアクラブ会員と交流することを通じて秋田 J C の歩んできた歴史を振り返り、 J C 運動へ参加する意識を高めます。</p>	<p><b>【具体的内容】</b> (1) 会員が入会候補者を容易にリストアップ出来るツールを作成します。 (2) 全会員が会員拡大の必要性を認識し、入会候補者への拡大手法を学びます。 (3) 全会員の協力を得て、30 人以上の会員拡大を図ります。 (4) 新入会員が積極的に J C に参加出来るようにします。 (5) シニアクラブ会員と現役会員との交流を図ります。</p> <p><b>【進め方】</b> (1) 委員会で他 L O M が使用しているツールを参考に作成します。 (2) 会員拡大の必要性を認識した上で、拡大リストを基に拡大手法を学ぶ例会を企画・実施します。 (3) 各委員会訪問や関係諸団体のご協力を頂き、2 月までに 300 名以上の情報を収集します。集まった情報を基に会員拡大会議を開催し、拡大の進捗状況の確認を行います。 (4) 新入会員に J C 活動の楽しさや運動の意義を伝え、 J C に馴染めるようにフォローをします。 (5) シニアクラブ会員との 60 年の歴史を感じられるような会員交流事業を企画・実施します。</p> <p><b>【成果発表の方法と時期】</b> (1) 担当例会や会員拡大会議にて使用します。 (2) 担当例会にて行ないます。 (3) 会員拡大会議や理事会にて報告します。 (4) 仮会員に会員拡大委員会運営の補助をしていただきます。 (4) J C スクールを開催します。 (5) シニアクラブ会員との 60 周年記念パーティーを実施します。</p>														
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
主要事業スケジュール				定時総会 京都会議					ASPAC (香港)	ブレイク大会 (能代) サマコン (横浜)		定時総会 青年フォーラム (五所川原)	全国大会 (北九州)	世界会議 (台北)	
例会担当		例会準備		→ 担当例会											
委員会年間スケジュール	入会 希望者 募集		会員拡大 会議												→
	拡大 ツールの 作成	→		J C スクールの 検証 ・企画			J C スクール	シニアク ラブ会員 ・会員 交流事業 準備		→	J C スクール 企画	シニア クラブ 会員・会 員交流 事業	→	J C スクール	

## 広報委員会事業計画表

委員長名 大工原 潤 印

<p><b>【テーマ】</b> 伝えよう歴史、広めよう運動！</p> <p><b>【主旨】</b> 我々秋田ＪＣが地域に対しＪＣ運動を展開するなかで、積極的な情報発信は重要な活動の一つであると考えます。 その活動をしていくうえで、人々の情報取得方法も多様化している現在では、それぞれにあわせた発信方法が必要です。また本年度は創立 60 周年という節目の年でもあり、ＪＣ運動の歴史を伝えられる機会でもあります。 そのために、様々なツールを活用して情報発信をし、ＪＣ運動を伝えることで、地域住民のまちづくりに対する参画意識向上へとつながる広報活動を展開します。</p>	<p><b>【具体的内容】</b>                      (1)様々なメディアを活用して積極的に地域住民へＪＣ運動を発信します。                      (2)ＳＮＳを活用した情報発信方法と、そのネットワークが地域にもたらす効果を、実例を交えながら学ぶ場を設けます。                      (3)創立 60 周年記念誌の編纂を行います。                      (4)事務局保管用のデータベースを整備します。</p> <p><b>【進め方】</b>                      (1)各担当委員会と連携してマスメディアへPRを行います。またホームページ、ＪＣニュースに加え新たなツールを用いた情報発信を行います。                      (2)委員会にて、企画・検討して行います。                      (3)創立 60 周年記念事業終了後速やかに編集・作成します。                      (4)委員会にて整備方法を検討し、メンバーが持っているデータ・写真等を収集して整備を行います。</p> <p><b>【成果発表の方法と時期】</b>                      (1)マスメディアへのPR、また新たなツールを用いた情報発信は適時実施、ホームページは随時更新、ＪＣニュースは毎月発行します。                      (2)担当例会にて行います。                      (3)記念事業終了後、速やかに発刊します。                      (4)整備方法を決定後、直ちに整備し運用します。</p>														
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
主要事業スケジュール				定時総会 京都会議					ASPAC (香港)	プロ大会 (能代) サマコン (横浜)		定時総会 青年フォーラム (五所川原)	全国大会 (北九州)	世界会議 (台北)	
例会担当			例会準備	→	担当例会										
委員会年間スケジュール		新たな発信方法の検討	ＪＣニュース発信・HP運営管理			→	実施								
		LOM事業PR	データベースシステム整備方法検討	60周年記念誌編纂	→										60周年記念誌発刊
			データベースシステム整備方法検討	データベースシステム運用											→

## 地域経済活性化委員会事業計画表

委員長名 塚田 大樹 印

<p><b>【テーマ】</b> 私たちの暮らす「あきた」を 希望と活気溢れるまちにしよう！</p> <p><b>【主旨】</b> 経済の停滞が続き、先行きの見えない不安による消費活動の伸び悩みを始めとする様々な問題を抱える現在、経済面から見た際、地域社会全体に元気がないように感じられます。私たちを取り巻く環境は依然厳しいですが、活気溢れるあきたを実現するためには企業・団体と地域住民が一体となり、地域経済に元気を創出する必要があると考えます。そこで地域経済活性化に向けた取り組みを通じて、私たちの暮らすまちあきたの発展を目指します。</p>	<p><b>【具体的内容】</b> (1)地域経済が活性化するためにはどのような手法が効果的かを学べる場を設けます。 (2)地元の企業・商品に対し愛着を持ってもらえる事業を実施することで、地域経済を活性化させるとともに、賑わいを創出します。</p> <p><b>【進め方】</b> (1)実践例や成功例を交えながら、地域経済が活性化するための手法を学べる場を委員会で企画します。 (2)(1)を踏まえ、地域に根ざす企業や地域住民が一体となり、あきたの経済が活気づく事業を企業・団体等と協力し実施します。</p> <p><b>【成果発表の方法と時期】</b> (1)担当例会にて実施します。 (2)担当例会にて実施します。</p>														
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
主要事業スケジュール				定時総会 京都会議					ASPAC (香港)	プロフ大会 (能代) サマコン (横浜)		定時総会 青年フォーラム (五所川原)	全国大会 (北九州)	世界会議 (台北)	
例会担当						例会 準備	→		担当例会		例会 準備	→		担当例会	
委員会年間スケジュール					事業調査・検討	→		協力企業・団体 募集	→		協力企業・団体 打ち合わせ、 準備	→		事業実施	

## 地域経済活性化委員会事業計画表

委員長名 塚田 大樹 印

<p><b>【テーマ】</b> 私たちの暮らす「あきた」を 希望と活気溢れるまちにしよう！</p> <p><b>【主旨】</b> 経済の停滞が続き、先行きの見えない不安による消費活動の伸び悩みを始めとする様々な問題を抱える現在、経済面から見た際、地域社会全体に元気がないように感じられます。私たちを取り巻く環境は依然厳しいですが、活気溢れるあきたを実現するためには企業・団体と地域住民が一体となり、地域経済に元気を創出する必要があると考えます。そこで地域経済活性化に向けた取り組みを通じて、私たちの暮らすまちあきたの発展を目指します。</p>	<p><b>【具体的内容】</b> (1)地域経済が活性化するためにはどのような手法が効果的かを学べる場を設けます。 (2)地元の企業・商品に対し愛着を持ってもらえる事業を実施することで、地域経済を活性化させるとともに、賑わいを創出します。</p> <p><b>【進め方】</b> (1)実践例や成功例を交えながら、地域経済が活性化するための手法を学べる場を委員会で企画します。 (2)(1)を踏まえ、地域に根ざす企業や地域住民が一体となり、あきたの経済が活気づく事業を企業・団体等と協力し実施します。</p> <p><b>【成果発表の方法と時期】</b> (1)担当例会にて実施します。 (2)担当例会にて実施します。</p>														
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
主要事業スケジュール				定時総会 京都会議					ASPAC (香港)	プロフ大会 (能代) サマコン (横浜)		定時総会 青年フォーラム (五所川原)	全国大会 (北九州)	世界会議 (台北)	
例会担当						例会 準備	→		担当例会		例会 準備	→		担当例会	
委員会年間スケジュール					事業調査・検討	→		協力企業・団体 募集	→		協力企業・団体 打ち合わせ、 準備	→		事業実施	

## 復興支援委員会事業計画表

委員長名 明石 浩貴 印

<p><b>【テーマ】</b> 東北復興のために 積極的な行動を</p> <p><b>【主旨】</b> 2011年3月11日、東日本大震災という未曾有の大災害が発生しました。その波及で現在、多岐に亘り問題が山積し、被災地の方々は今後の生活に大きな不安を抱えた毎日を過ごしています。被災した方々が一日でも早く安定した生活を送る為にも、この諸問題の解決は急務と考えます。 そこで、諸問題の解決をサポートする為、被災地では何が本当に必要かを見定め、その時期、状況を踏まえ、継続的且つ被災した方の気持ちを汲み取った支援活動を目指します。また、被災した方が確かな一歩を踏み出せるよう、心のケアにも目を向けます。</p>	<p><b>【具体的内容】</b>                      (1)諸問題の解決をサポートできる復興支援活動を企画、実施します。                      (2)人と人のつながり、ふれあい、交流を踏まえた活動を企画、実施します。                      (3)(1)(2)が被災した方々にとって確かな支援活動となるよう情報収集と他団体への交渉を行います。                      (4)新年例会では新体制と活動方針をご理解いただく場とし、60周年記念式典では60年間の足跡を展覧し、これまでご協力いただいた方々へ感謝、熱誠をお伝えし、報徳の場になります。</p> <p><b>【進め方】</b>                      (1)地域住民及び諸団体、被災地のロム及び諸団体と連携し、事業を実施します。                      (2)被災地の方々及びロム、あきたの方々と連携し、心のケアに重点を置いた事業を実施します。                      (3)委員会にて情報を持ちより協議・検討します。                      (4)新年例会及び60周年記念式典を企画、運営致します。</p> <p><b>【成果発表の方法と時期】</b>                      (1)事業 にて行います。                      (2)事業 にて行います。                      (3)随時行います。                      (4)新年例会、60周年記念式典にて行います。</p>															
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
主要事業スケジュール				定時総会 京都會議					ASPAC (香港)	ブレイク大会 (能代) サマコン (横浜)		定時総会 青年フォーラム (五所川原)	全国大会 (北九州)	世界会議 (台北)		
例 会 担 当	例会準備 式典準備	→	→	担当例 会 式典												
委員会年間スケジュール					事業準備  情報収集 他団体へ の交渉	→		事業実施			事業準備	→	事業実施		事業検証	

## 渉外委員会事業計画表

委員長名 三浦 圭介 印

<p><b>【テーマ】</b> 秋田 JC と全国、そして世界との「絆」を積極的に築こう</p> <p><b>【主旨】</b> 本年度、創立 60 周年を迎えるという非常に重要な年を迎えます。また、日本 JC に副会頭を輩出する LOM として様々な場面で柔軟に対応できる渉外が求められると考えます。 そこで渉外委員会が他 LOM との交流や各種大会・諸会議の際に率先して行動することにより、多くの LOM メンバーが全国、そして国際的にも「絆」を築いていけることを目指します。</p>	<p><b>【具体的内容】</b>                      (1)他 LOM との渉外を円滑に行います。                      (2)出向者の活動に対する全面支援態勢の確立、運用を行います。                      (3)諸大会、諸会議の渉外対応のサポートを行います。                      (4)第 16 回わんぱく相撲秋田ブロック大会の対応を行います。                      (5)第 42 回秋田ブロック会員大会に伴う移動例会を実施します</p> <p><b>【進め方】</b>                      (1)他 LOM との交流の窓口となり、友好を深められる設営をします。                      (2)委員会メンバーが率先して LOM メンバーの参加意識向上に務め、出向支援のマニュアルを作成・運用します。                      (3)諸大会、諸会議に LOM メンバーの参加意識が高まるような企画・設営のサポートをします。                      (4)秋田ブロック協議会と連携し、全国大会までの支援を行います。                      (5)委員会メンバーで対応します。</p> <p><b>【成果発表の方法と時期】</b>                      (1)随時対応を行います。                      (2)マニュアルの運用を行います。                      (3)随時対応を行います。                      (4)随時対応と報告を行います。                      (5)7 月例会にて行います。</p>														
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
主要事業スケジュール				定時総会 京都会議					ASPAC (香港)	ブロック大会 (能代) サマコン (横浜)		定時総会 青年フォーラム (五所川原)	全国大会 (北九州)	世界会議 (台北)	
例 会 担 当							例会準備	→		担当例会					
委員会年間スケジュール	出向者の サポート	→													→
	マニュアルの作成		→	マニユアルの運用											→
				秋田ブ ロック 内周年 事業 (大館)	秋田ブ ロック 内周年 事業 (大曲)			わんぱく 相撲対応	→						



## 地域人財育成委員会事業計画表

委員長名 根田 絵美子 印

<p><b>【テーマ】</b> 今、希望の種を蒔こう 未来のあきたで大輪の花を咲かせるために</p> <p><b>【主旨】</b> 秋田の子供達は学力が高く、学校の指導力も評価を受けていますが、これから社会へ出て行く世代には学力だけでなく、未来のあきたを担う世代として地域社会への関心を持ち、積極的に関わっていく事も必要であると考えます。 そこで今の中高生が、学校という組織から一歩踏み出し、地域の人々と関わり、あきたの現状を知る事で、生まれ育ったまちへの関心を持ち「人のため」「まちのため」に自分達に何が出来るかを考えられる利他の精神と、積極的に社会に飛び出していける行動力を育みます。</p>	<p><b>【具体的内容】</b> (1)各地の中高生のまちづくり事業を知ることで、今後の企画・運営を的確にサポートできるよう委員会メンバーの意識向上を図ります。 (2)中高生があきたに関心を持ち、あきたの為に自ら率先して行動できるよう資質の向上を目指します。 (3)中高生のまちづくりへの想いや運動を知ることで、更なるJC運動への意識向上を図ります。 (4)秋田JC竿燈会のサポートをします。</p> <p><b>【進め方】</b> (1)各地の中高生がどのように事業を企画し運営しているのか情報収集しサポート体制を整えます。また、学校や教育委員会に理解と協力を求めます。 (2) 中高生の実行委員を募り、自ら率先してあきたの為に何ができ何が必要であるかを考え、それを形に出来る場を設けます。 (2) を踏まえ、中高生が中心となってあきたの為に企画した事業を実施します。 (3)各地の中高生がまちづくりを通して何を学んだかを知る事で、あきたの中高生がまちづくりに対する興味を深めると共に、JCメンバーがJC運動やまちづくりへの意識を高められる場を企画・実施します。 (4)秋田JC竿燈会の練習・本番での人員サポートをします。</p> <p><b>【成果発表の方法と時期】</b> (1)委員会にて行います。 (2) 実行委員会にて行います。 (2) 事業にて行います。 (3)例会にて行います。 (4)竿燈祭りで行います。</p>														
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
主要事業スケジュール				定時総会 京都会議					ASPAC (香港)	プロム大会 (能代) サマコン (横浜)		定時総会 青年フォーラム (五所川原)	全国大会 (北九州)	世界会議 (台北)	
例 会 担 当					例会準備		→	担当例会							
委員会年間スケジュール		まちづくりに関する情報収集		→	学校・教育委員会へ説明		→	実行委員会募集		→	実行委員会結成	事業準備		→	事業実施
									JC竿燈会のサポート				→		

## 地域のたから発信委員会事業計画表

委員長名 阿部 隆志 印

<p><b>【テーマ】</b> 築こう「地域力」 活かそう「たから」 地域の夢はここにある！</p> <p><b>【主旨】</b> 我々の暮らすあきたには、全国に誇れるたからが沢山あります。しかしながら、いい素材があっても活かされていなのが現状です。 こうした状況を打破するために、地域住民一人ひとりがしっかりと自分の役割を自覚し、出来ることを行う「地域力」のネットワークを築き、点在する「あきたのたから」を発信していくことが、必要であると考えます。 「あきたのたから」を広く発信し、地域住民があきたに自信と夢を持てる「希望に満ち溢れたあきた」を目指します。</p>	<p><b>【具体的内容】</b> (1) 「あきたのたから」を活かした地域住民参加型の事業を展開し、広く地域住民へ発信します。</p> <p><b>【進め方】</b> (1) 過去の事業、他の団体の成功例を調査・分析します。 - 実行委員会組織を再構築し、企画・運営します。 - 「あきたのたから」を活かした地域住民参加型の事業を実施します。</p> <p><b>【成果発表の方法と時期】</b> (1) 委員会内にて行います。 - 実行委員会組織にて随時行います。 - 例会にて行います。</p>															
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
主要事業スケジュール				定時総会 京都会議					ASPAC (香港)	ブロック大会 (能代) サマコン (横浜)		定時総会 青年フォーラム (五所川原)	全国大会 (北九州)	世界会議 (台北)		
例会担当										例会準備	→	担当例会				
委員会年間スケジュール				事業調査	→	→	実行委員会 設立	実行委員会 運営			→	全体ミー ティング	例会・事 業実施	事業検証	→	